

**全国有力100社
アンケート調査**

「やや強気」が57%でトップに 「横ばい」は35%

8月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「8月の相場動向」の結果がまとまった。全体（電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計）の結果は、「やや強気」が57%で最も多かった。「強気」も7%あり、強基調の回答が64%を占めた。2番目に多かったのは「横ばい」で35%。「やや弱気」は1%、「弱気」は0%で、弱基調の回答はほとんどなかった。

◆業種別～電炉・商社シッパーとも「やや強気」が7割。

電炉メーカーは「やや強気」が72%を占めた。「強気」は7%、「横ばい」は21%だった。商社・シッパーは、「やや強気」が73%で最も多かった。「強気」も14%あり、87%が強基調となった。「横ばい」は13%だった。市中業者のトップもやはり「やや強気」だったが50%で、他業種に比べると割合は低かった。「強気」も5%あり、55%が強基調の回答となった。「横ばい」は43%と他業種よりも多め。「やや強気」は2%だった。

◆地域別～東日本は「横ばい」が56%でトップに。西日本では8割以上が強基調の回答。

東日本は「横ばい」が56%でトップ。次に多かったのは「やや強気」の36%。「強気」は8%あり、強基調の回答が44%を占めた。弱基調の回答はゼロ。

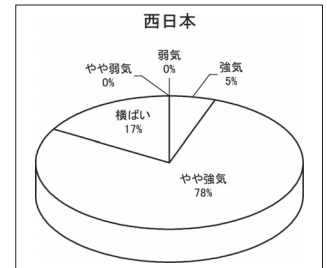
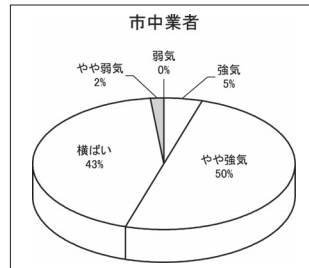
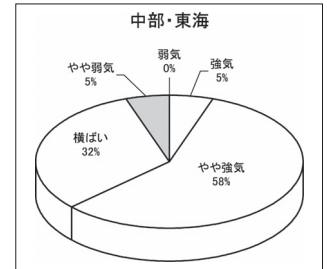
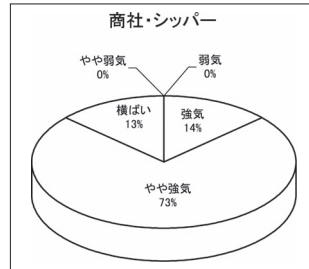
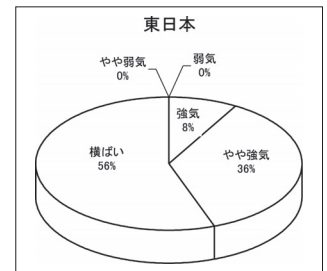
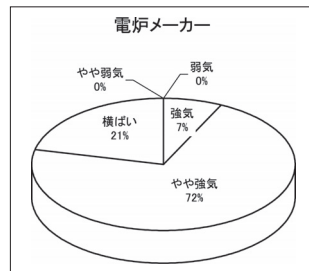
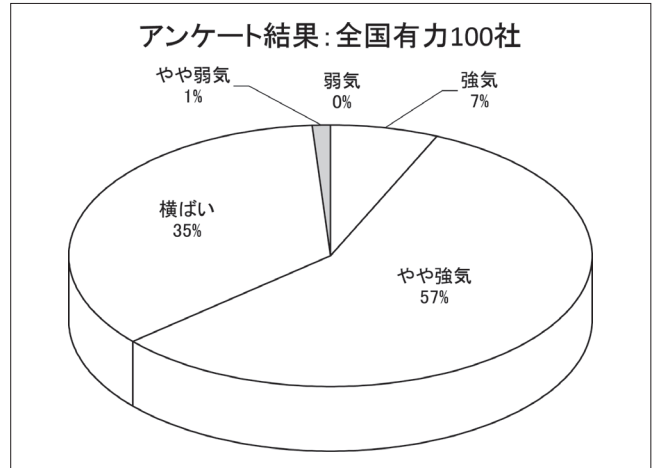
中部・東海は「やや強気」が58%でトップ。「強気」は5%で、強基調の回答は63%となった。「横ばい」は2番目に多く32%、「やや弱気」は5%だった。

西日本は「やや強気」が78%と、3地区中で最も高い割合だった。「強気」も5%あり、強基調の回答は83%を占めた。「横ばい」は17%だった。

<個別コメント(一部)>

▼米屑の値上がりにより東アジア向けも値上がりが見込まれる。ただ、韓国の電力制限による減産が懸念要因。日本も、電炉の炉休明けの生産状況で方向性が左右されるのでは。▼現代製鉄は8月一杯までの手当てを終えた模様。メーカー生産量も8月はボトムとなる。

鉄スクラップの発生は夏枯れで細いけれども、これ以上の価格上昇はないと予測。▼秋季に向け、国内需要は堅調、その期待による荷動き低調が継続。



Innovation for further growth
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

<http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19
TEL(06)6393-8401代 FAX(06)6399-0313

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】

■回答方法:8月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答
■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:7月26日～8月5日 ■回答率:91.0%(東日本90.0%、中部・東海95.0%、西日本90.0%)